

第10回 社会保障審議会医療部会

格差なき医療を提供するために

2009年11月19日
社団法人 日本医師会
竹嶋康弘

国民皆保険制度

だれでも いつでも どこでも
所得格差や地域格差なく良質で
安全な医療を安心して受ける
ことが出来る公的給付制度

医療の安全網守る国策を

昨年、急性骨髄性白血病で入院。医療費は1,000万円近くになったが、自己負担は80万円程度。地方都市でも最先端の治療が受けられ、仕事に復帰できた。

国民皆保険制度の素晴らしさを改めて実感したが、このシステムを当たり前と考えると、無理な医療費削減などでメンテナンスを怠ると、簡単に崩壊してしまう。

経済的格差が広がっても、医療の安全網だけは守るという強い意志を国策として示し、そのために必要な費用を確保すべき。

* 出所:2009年11月3日 読売新聞朝刊『私のあんしん提言; 帚木蓬生(作家・精神科医)』

岩手県

北海道についで広い。
四国4県に匹敵する広
大な県土。

9つの2次医療圏

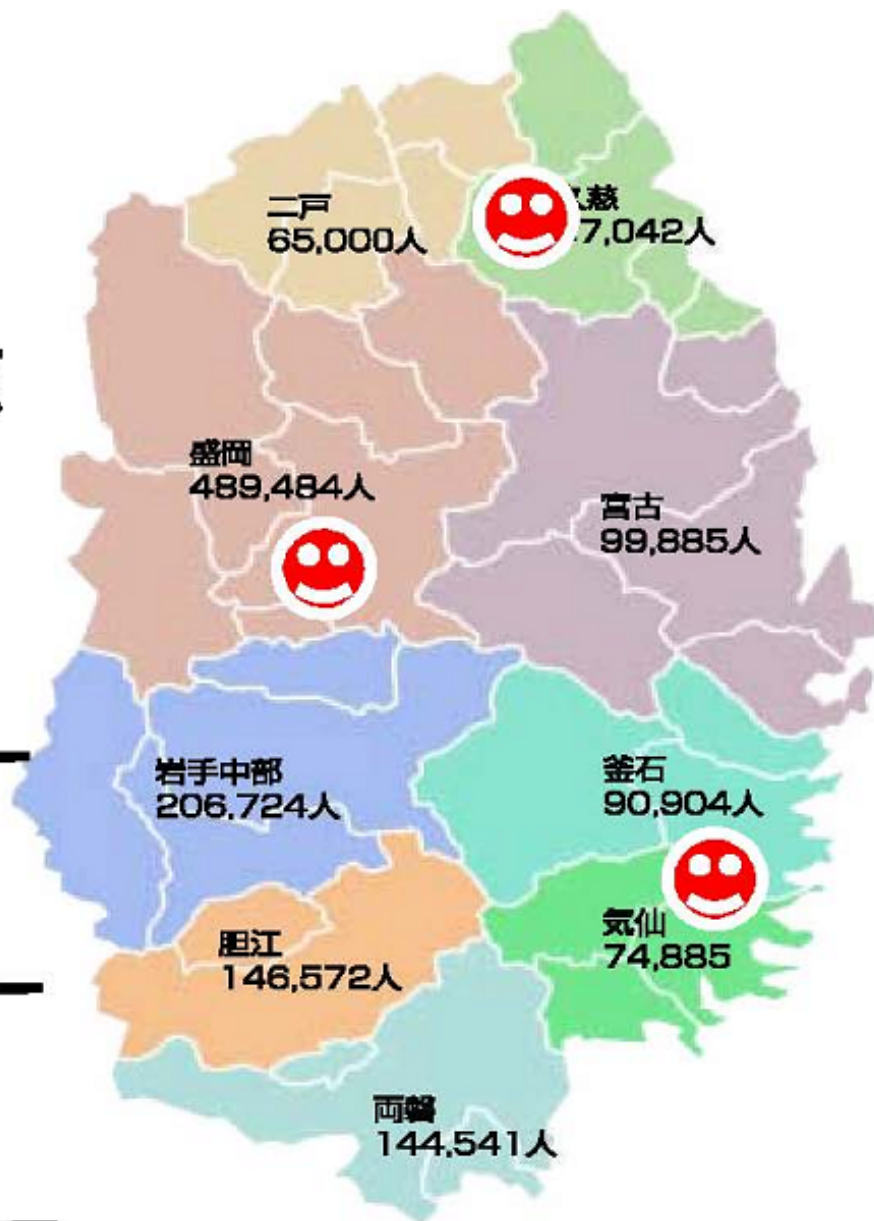
高度救命救急センター

県立久慈病院

高次救命救急センター

県立大船渡病院

高次救命救急センター



* 出所: 日本の医療 光と影—大学病院のなくなる日— 小川 彰(全国医学部長病院長会議 会長)
2009年7月15日 日本医師会医療政策会議 社団法人 日本医師会